

## 第11次新潟県職業能力開発計画評価詳細（案）

## 指標 1 ものづくり分野の訓練修了者の就職率

評価区分	概ね達成
------	------

達成状況

(令和7年9月末現在)

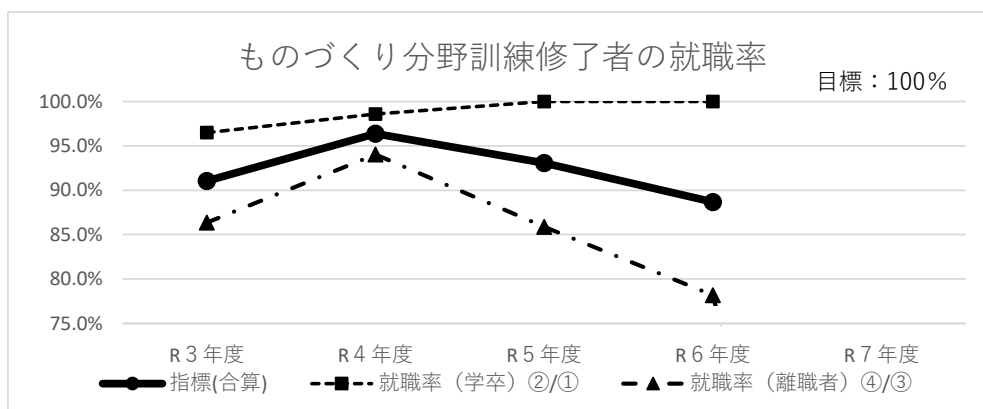
区 分	目 標 【R7年度】	現 状 値					
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	5年平均
実 績	100%	91.1%	96.4%	93.1%	88.7%	—	92.6%
達成率		91.1%	96.4%	93.1%	88.7%	—	92.6%
判定区分		概ね達成	概ね達成	概ね達成	未達成	—	概ね達成

実施状況のデータ

(令和7年9月末現在)

年 度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	5年平均
指標(合算)	91.1%	96.4%	93.1%	88.7%	—	92.6%
就職率(学卒)②/①	96.5%	98.6%	100.0%	100.0%	—	98.8%
就職率(離職者)④/③	86.4%	94.0%	85.9%	78.2%	—	86.5%
修了者(学卒)①	57	71	81	51	—	65.0
就職者(学卒)②	55	70	81	51	—	64.3
修了者(離職者)③	66	67	78	55	—	66.5
就職者(離職者)④	57	63	67	43	—	57.5

※ 在職者訓練は含まない。



## 【評価の概要・課題】

- ・達成率は5年間の平均が92.6%だったため「概ね達成」と評価した。
- ・ものづくり系訓練は、近年、施設内訓練のみの実施となっている。
- ・離職者向け訓練の未就職者の中には、家庭の事情や健康上の理由で短時間勤務や業務内容の制約を望む方が一定数おり、正社員を望む企業とのミスマッチが生じている。
- ・学卒者向け訓練は、1、2年間の訓練期間を通じて資格取得や技術習得、就職指導による職業意識の醸成が行われるため、就職率が高いと考えられる。

## 【取組の方向性】

- ・引き続き、企業のニーズを踏まえながら、就職に有利となる資格取得や技術習得を目指した訓練を行うことに加え、ジョブカードを活用したキャリアコンサルティング等により、個々に合わせたキャリア形成の支援を行い、就職率の向上につなげる。

## 指標 2 IT分野の訓練修了者の就職者数

評価区分	未達成
------	-----

## 達成状況

(令和7年9月末現在)

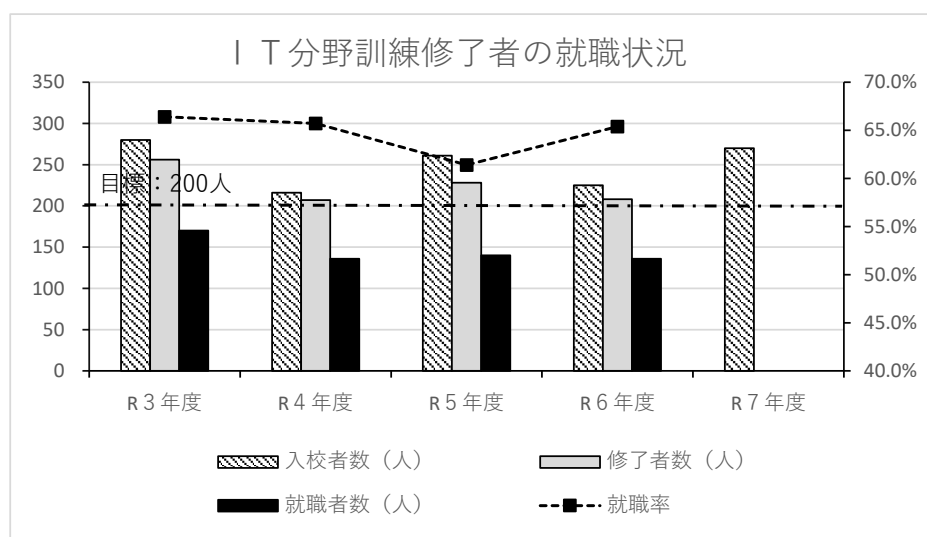
区 分	目 標 【R7年度】	現 状 値					5年平均
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
実 績	200人	170人	136人	140人	136人	-	145.5
達成率		85.0%	68.0%	70.0%	68.0%	-	72.8%
判定区分		未達成	未達成	未達成	未達成	-	未達成

## 実施状況のデータ

(令和7年9月末現在)

年 度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度 (途中経過)	5年平均
入校者数 (人)	280	216	261	225	270	245.5
修了者数 (人)	256	207	228	208	-	224.8
就職者数 (人)	170	136	140	136	-	145.5
就職率	66.4%	65.7%	61.4%	65.4%	-	64.7%

※ 在職者訓練は含まない。



## 【評価の概要・課題】

- ・達成率は5年間の平均が72.8%だったため「未達成」と評価した。
- ・離職者向け訓練全体の5年平均就職率74.8%と比較し10.1ポイント低く、プログラミングやWebページの作成を希望する求職者と幅広いスキルを持った人材を求める企業でミスマッチが生じている。

## 【取組の方向性】

- ・ジョブカードを活用したキャリアコンサルティング等により、個々に合わせたキャリア形成の支援を行い、人手不足分野等を含めた就職先の多様化を図る。

## 指標 3 テクノスクール修了生（学卒者訓練）の就職 1 年以内の離職率

評価区分	未達成
------	-----

## 達成状況

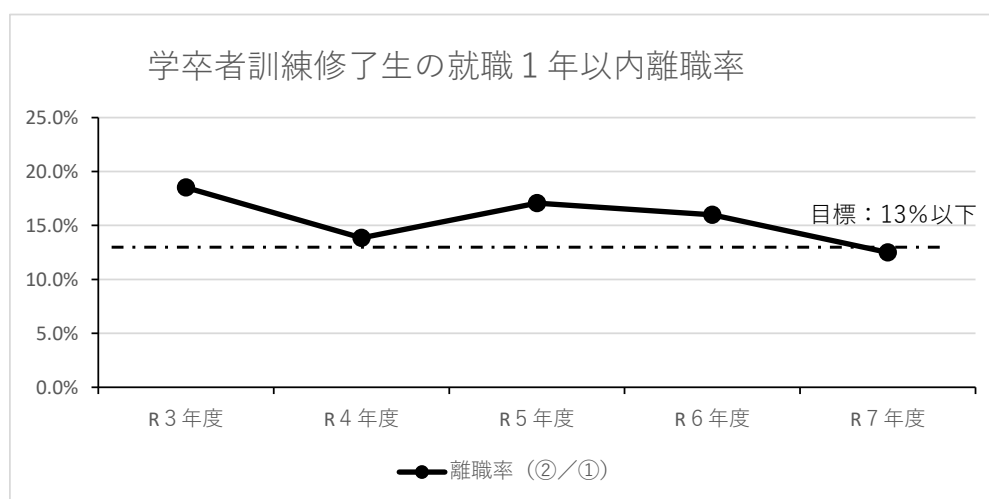
(令和 7 年度調査)

区 分	目 標 【R7 年度】	現 状 値					
		R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	5 年平均
実 績	13%	18.5%	13.9%	17.1%	16.0%	12.5%	15.6%
達成率		57.5%	93.4%	68.7%	76.9%	103.8%	80.3%
判定区分		未達成	概ね達成	未達成	未達成	達成	未達成

## 実施状況のデータ

(令和 7 年度調査)

調査年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	5 年平均
調査対象者修了年月	R2. 3 月	R3. 3 月	R4. 3 月	R5. 3 月	R6. 3 月	
離職率 (②/①)	18.5%	13.9%	17.1%	16.0%	12.5%	15.6%
就職者数①	108	101	82	100	104	99.0
離職者②	20	14	14	16	13	15.4



## 【評価の概要・課題】

- ・達成率は5年間の平均が80.3%だったため「未達成」と評価した。
- ・退職理由は「仕事が自分に合わなかった」が最も多くなっており、就職先企業の業務と訓練生の認識にミスマッチが生じている。

## 【取組の方向性】

- ・スクールカウンセラーと指導員が協力して就職指導を実施し、訓練生個々の就職への不安解消を図る。
- ・訓練生が企業選択するために、テクノスクール独自の企業相談会の開催や企業見学の実施等により情報提供を強化し、就職先の選択時におけるミスマッチ防止を図る。
- ・内定先企業と連携し、業務理解の促進と個別指導を実施することで就職後のミスマッチを軽減する。
- ・同じ企業に就職したテクノスクールOB・OGの紹介等を通じて、職場環境への理解を深めてもらうなど、訓練生が安心して就労できる環境を整備する。

## 指標 4 在職者訓練の受講者数

評価区分	概ね達成
------	------

達成状況

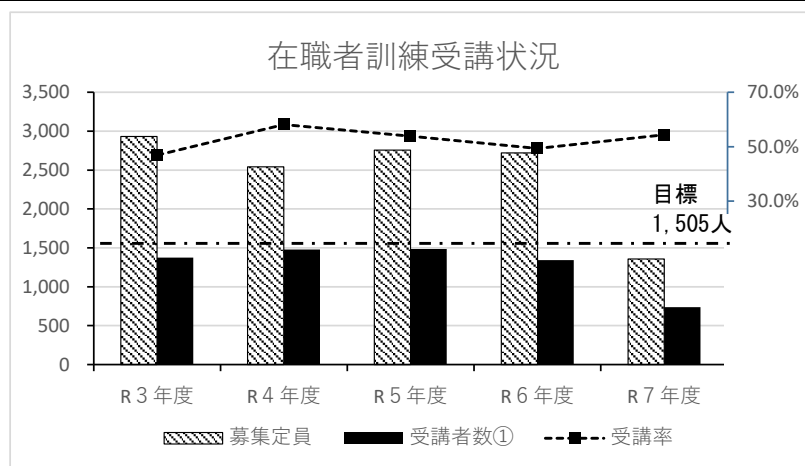
(令和7年9月末現在)

区 分	目 標 【R7年度】	現 状 値					
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	5年平均
実 績	1,505人	1,375人	1,478人	1,485人	1,344人	—	1,420.5人
達成率		91.4%	98.2%	98.7%	89.3%	—	94.4%
判定区分		概ね達成	概ね達成	概ね達成	未達成	—	概ね達成

実施状況のデータ

(単位：人、令和7年9月末現在)

年 度		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度 (途中経過)	5年平均
受講率		46.9%	58.1%	53.9%	49.4%	54.3%	51.9%
募集定員		2,932	2,543	2,755	2,721	1,358	2737.8
受講者数①		1,375	1,478	1,485	1,344	738	1420.5
レディーメイド	受講率	42.2%	52.6%	52.2%	48.4%	52.0%	48.7%
	定員	2,674	2,253	2,647	2,609	1,300	2545.8
	受講者数	1,128	1,185	1,382	1,264	676	1239.8
オーダーメイド	受講率	95.7%	101.0%	95.4%	71.4%	106.9%	94.1%
	定員	258	290	108	112	58	192.0
	受講者数	247	293	103	80	62	180.8
eラーニング オンライン	受講者数②	0	0	339	346	—	
	②/①	0.0%	0.0%	22.8%	25.7%	—	



## 【評価の概要・課題】

- ・達成率は5年間の平均が94.4%だったため「概ね達成」と評価した。
- ・新型コロナウイルス感染症が5類に移行した令和5年度以降は、企業は通常業務が忙しく従業員に在職者訓練を受講させる余裕がないとの声がある。
- ・時間や場所を限定せず受講できるオンラインやeラーニングの訓練は、個人の申込が多くなっている。

## 【取組の方向性】

- ・企業経由だけではなく、学習意欲の高い個人の受講も促進するため、オンラインやeラーニングを活用した訓練を拡充し、引き続きスキルアップ・キャリア形成を支援する。
- ・併せて、企業等から訓練のオーダーメイド要望があれば、柔軟に対応し訓練機会の確保に努める。

## 指標 5 デュアルシステム訓練による就職者の常用雇用率

評価区分	一定の成果が見られる
------	------------

## 達成状況

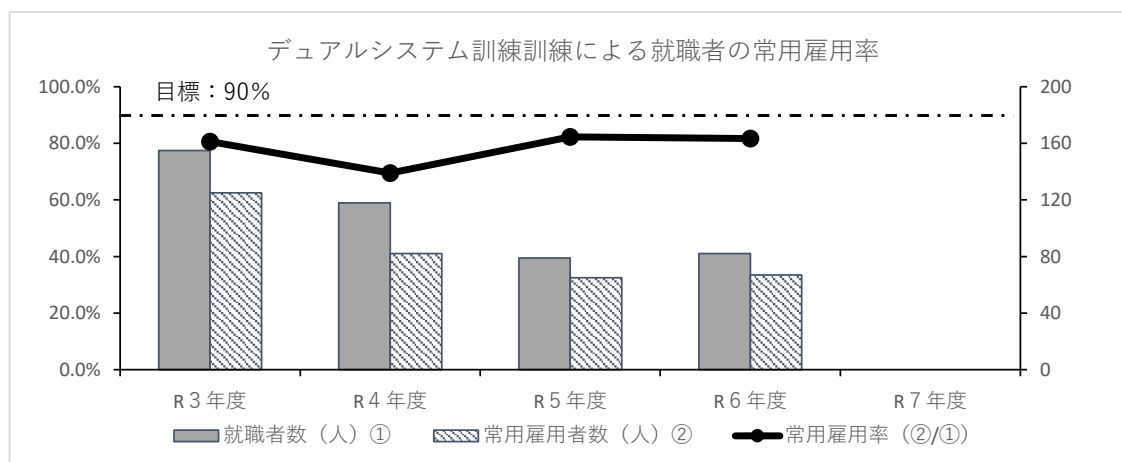
(令和 7 年 9 月末現在)

区 分	目 標 【R7 年度】	現 状 値					
		R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	5 年平均
実 績	90.0%	80.6%	69.5%	82.3%	81.7%	—	78.1%
達成率		89.6%	77.2%	91.4%	90.8%	—	86.8%
判定区分		未達成	未達成	概ね達成	概ね達成	—	未達成

## 実施状況のデータ

(令和 7 年 9 月末現在)

年 度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	5 年平均
常用雇用率 (②/①)	80.6%	69.5%	82.3%	81.7%	—	78.1%
委託訓練	78.3%	64.4%	77.4%	78.9%	—	74.5%
施設内訓練	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	—	100.0%
就職者数 (人) ①	155	118	79	82	—	108.5
委託訓練	138	101	62	71	—	93.0
施設内訓練	17	17	17	11	—	15.5
常用雇用者数 (人) ②	125	82	65	67	—	84.8
委託訓練	108	65	48	56	—	69.3
施設内訓練	17	17	17	11	—	15.5



## 【評価の概要・課題】

- ・達成率は5年間の平均が86.8%で「未達成」であったが、令和5年度及び6年度は「概ね達成」で推移していることから「一定の成果が見られる」と評価した。
- ・委託訓練は、目標から10ポイント以上低くなっていることから、委託訓練における常用雇用率向上が課題となっている。
- ・また、入校者数が減少しており、受講者の確保が課題となっている。

## 【取組の方向性】

- ・デュアルシステム訓練の受講者の中には、対人関係に不安があり企業実習に前向きになれない受講者が一定数おり、キャリアコンサルティングや担任との面談等により、受講者の不安解消及び実習先企業と受講者のマッチング強化を図る。
- ・受講者の希望に合わせた実習先企業の開拓を強化する。
- ・ジョブカードを活用したキャリアコンサルティング等により、個々に合わせたキャリア形成の支援を行い、就職率の向上につなげる。

## 指標 6 離職者訓練の修了者の就職率

評価区分	概ね達成
------	------

達成状況

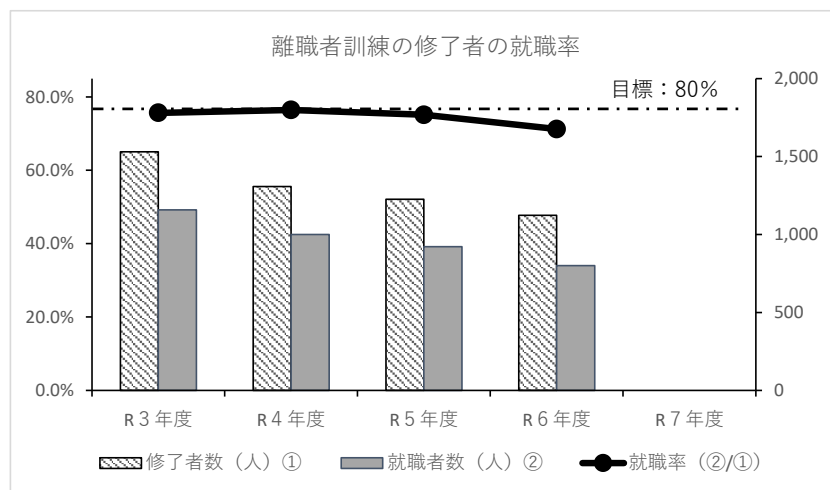
(令和 7 年 9 月末現在)

区 分	目 標 【R7年度】	現 状 値					5 年 平 均
		R 3 年 度	R 4 年 度	R 5 年 度	R 6 年 度	R 7 年 度	
実 績	80.0%	75.7%	76.5%	75.1%	71.3%	—	74.8%
達成率		94.6%	95.6%	93.9%	89.1%	—	93.5%
判定区分		概ね達成	概ね達成	概ね達成	未達成	—	概ね達成

実施状況のデータ

(令和 7 年 9 月末現在)

年度	R 3 年 度	R 4 年 度	R 5 年 度	R 6 年 度	R 7 年 度	5 年 平 均
就職率 (②/①)	75.7%	76.5%	75.1%	71.3%	—	74.8%
うち45歳以上 (④/③)	70.0%	68.6%	69.1%	68.4%	—	69.1%
修了者数 (人) ①	1,530	1,308	1,227	1,124	—	1,297.3
うち45歳以上③	647	525	528	551	—	562.8
就職者数 (人) ②	1,158	1,000	922	801	—	970.3
うち45歳以上④	453	360	365	377	—	388.8
修了者のうち45歳以上の割合	42.3%	40.1%	43.0%	49.0%		



## 【評価の概要・課題】

- ・達成率は5年間の平均が93.5%だったため「概ね達成」と評価した。
- ・45歳以上の中高年齢者の受講割合は増加傾向であるが、全年齢と比較して就職率が低く、平均を下げる要因となっている。
- ・一方で、新潟労働局の令和6年度の統計では45歳以上の新規求職者全体の就職率は26.7%であり、一定の訓練効果が確認できる。

## 【取組の方向性】

- ・ジョブカードを活用したキャリアコンサルティング等により、個々に合わせたキャリア形成の支援を行い、就職率の向上につなげる。
- ・加えて、中高年齢者はそれまでのキャリアを活かした就職ができるよう支援する。

## 指標 7 女性の訓練修了者の就職率

評価区分	概ね達成
------	------

## 達成状況

(令和 7 年 9 月末現在)

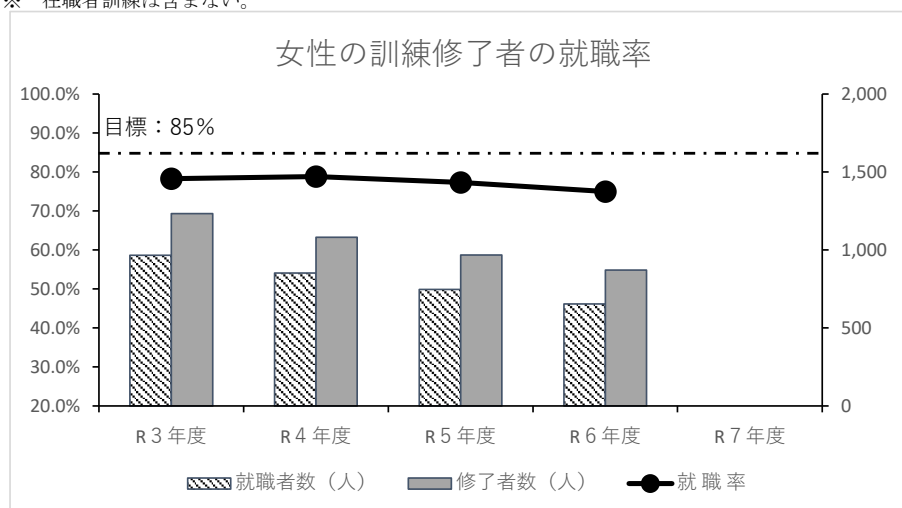
区 分	目 標 【R7 年度】	現 状 値					5 年 平 均
		R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	
実 績	85.0%	78.3%	78.8%	77.4%	75.0%	-	77.5%
達成率		92.1%	92.7%	91.0%	88.2%	-	91.2%
判定区分		概ね達成	概ね達成	概ね達成	未達成	-	概ね達成

## 実施状況のデータ

(令和 7 年 9 月末現在)

年 度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	5 年 平 均
就 職 率	78.3%	78.8%	77.4%	75.0%	-	77.5%
修了者数 (人)	1,234	1,082	967	872	-	1,038.8
就職者数 (人)	966	853	748	654	-	805.3
男性の就職率	74.3%	73.6%	71.8%	71.0%	-	72.8%

※ 在職者訓練は含まない。



## 【評価の概要・課題】

- ・達成率は5年間の平均が91.2%だったため「概ね達成」と評価した。
- ・離職者向け訓練受講者のうち、女性は約7割であり、そのうち約8割が有効求人倍率の低い事務系の訓練を希望している。

## 【取組の方向性】

- ・事務系訓練を希望する受講者を、事務系訓練にデジタルリテラシーのカリキュラムを追加したデジタル系訓練に誘導することで、全職種が必要とするデジタルの基礎知識を習得し、人手不足分野等を含めた就職先の多様化を図り、就職率の向上と企業の人材確保につなげる。
- ・ジョブカードを活用したキャリアコンサルティング等により、個々に合わせたキャリア形成の支援を行い、就職率の向上につなげる。

## 指標8 職業訓練による就職者のうち正規雇用の割合

評価区分	未達成
------	-----

達成状況

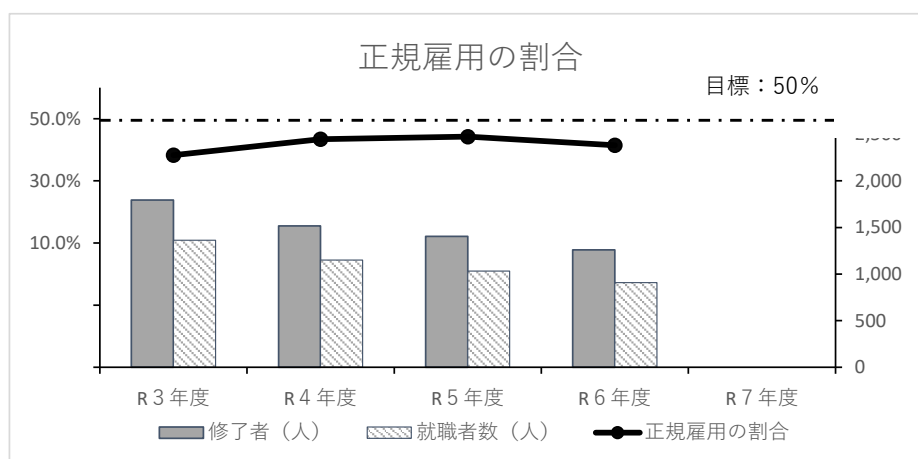
(令和7年9月末現在)

区 分	目 標 【R7年度】	現 状 値					
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	5年平均
実 績	50.0%	38.3%	43.4%	44.2%	41.5%	-	41.6%
達成率		76.5%	86.9%	88.5%	82.9%		83.3%
判定区分		未達成	未達成	未達成	未達成	-	未達成

実施状況のデータ

(令和7年9月末現在)

年 度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	5年平均
正規雇用の割合	38.3%	43.4%	44.2%	41.5%	-	41.6%
就職者数(人)	1,364	1,149	1,033	909	-	1,113.8
修了者(人)	1,794	1,518	1,404	1,261	-	1,494.3
正規雇用者数(人)	522	499	457	377	-	463.8



## 【評価の概要・課題】

- ・達成率は5年間の平均が83.3%だったため「未達成」と評価した。
- ・令和7年に当課で実施したニーズ調査では非正規雇用のうち24.4%が正規雇用を希望しており、不本意非正規雇用が一定数存在している。
- ・修了者のうち6割を占める事務系訓練の正規雇用の割合は34.7%で平均より低い。

## 【取組の方向性】

- ・不本意非正規雇用とならないよう、引き続き、ジョブカードを活用したキャリアコンサルティング等により、個々の受講者に合わせた就職指導に取り組む。
- ・事務系訓練を希望する受講者を、事務系訓練にデジタルリテラシーのカリキュラムを追加したデジタル系訓練に誘導することで、全職種が必要とするデジタルの基礎知識を習得し、人手不足分野等を含めた就職先の多様化を図り、正規雇用の割合の向上につなげる。

## 指標 9 高齢者（55歳以上）の訓練修了者の就職率

評価区分	概ね達成
------	------

## 達成状況

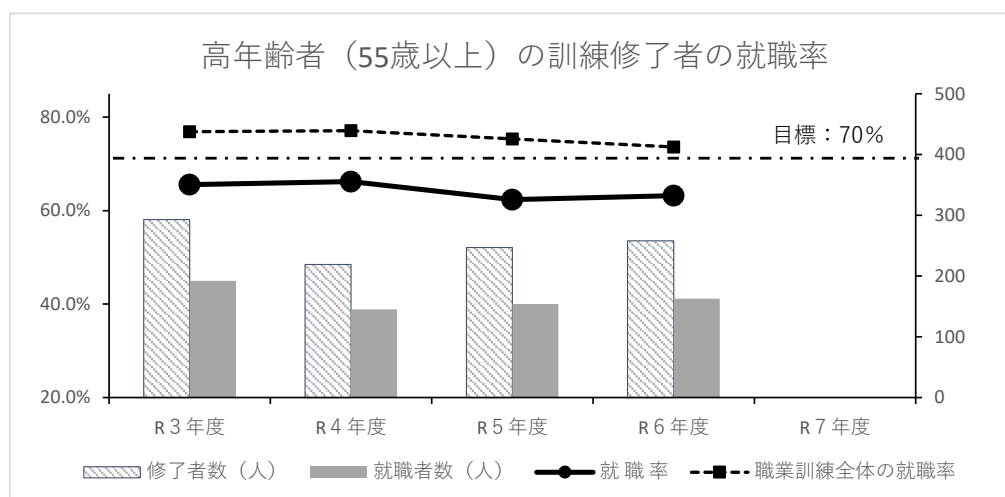
(令和7年9月末現在)

区 分	目 標 【R7年度】	現 状 値					5年平均
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
実 績	70.0%	65.5%	66.2%	62.3%	63.2%	-	64.3%
達成率		93.6%	94.6%	89.1%	90.3%	-	91.9%
判定区分		概ね達成	概ね達成	未達成	概ね達成	-	概ね達成

## 実施状況のデータ

(令和7年9月末現在)

年 度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	5年平均
就 職 率	65.5%	66.2%	62.3%	63.2%	-	64.3%
修了者数 (人)	293	219	247	258	-	254.3
就職者数 (人)	192	145	154	163	-	163.5
職業訓練全体の就職率	76.9%	77.1%	75.3%	73.6%	-	



## 【評価の概要・課題】

- ・達成率は5年間の平均が91.9%だったため「概ね達成」と評価した。
- ・新潟労働局の令和6年度の統計では55歳以上の新規求職者全体の就職率は21.7%となっている一方で、職業訓練受講者の就職率は60%を超えていることから、一定の訓練効果が確認できる。

## 【取組の方向性】

- ・「中高年齢者向け職業訓練コース」など、引き続き、高齢者に配慮した訓練を実施し確実なスキル習得を支援する。
- ・ジョブカードを活用したキャリアコンサルティング等により、高齢者のそれまでのキャリアを活かした就職ができるよう支援する。

## 指標10 障害者職業訓練による修了生の就職率

評価区分	達成
------	----

## 達成状況

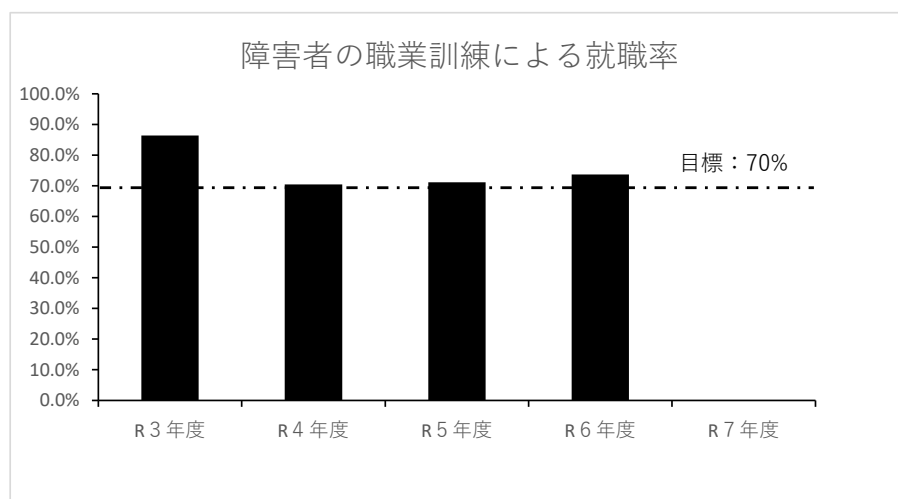
(令和7年9月末現在)

区 分	目 標 【R7年度】	現 状 値					
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	5年平均
実 績	70%	86.4%	70.5%	71.1%	73.7%	-	76.3%
達成率		123.5%	100.6%	101.6%	105.3%		109.1%
判定区分		達成	達成	達成	達成	-	達成

## 実施状況のデータ

(令和7年9月末現在)

年 度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	5年平均
就 職 率	86.4%	70.5%	71.1%	73.7%	-	76.3%
修了者数 (人)	59	44	45	38	-	46.5
就職者数 (人)	51	31	32	28	-	35.5



## 【評価の概要・課題】

- ・達成率は5年間の平均が109.1%だったため「達成」と評価した。
- ・訓練生の減少傾向が続いている。

## 【取組の方向性】

・ハローワークや障害者就業・生活支援センター等の関係機関と連携を深め、集合訓練の委託先及び個別訓練の実施希望企業で開催する見学会の広報強化を図り、障害者の受講機会確保に努める。

## 指標11 技能検定の県内合格者数

評価区分	一定の成果が見られる
------	------------

## 達成状況

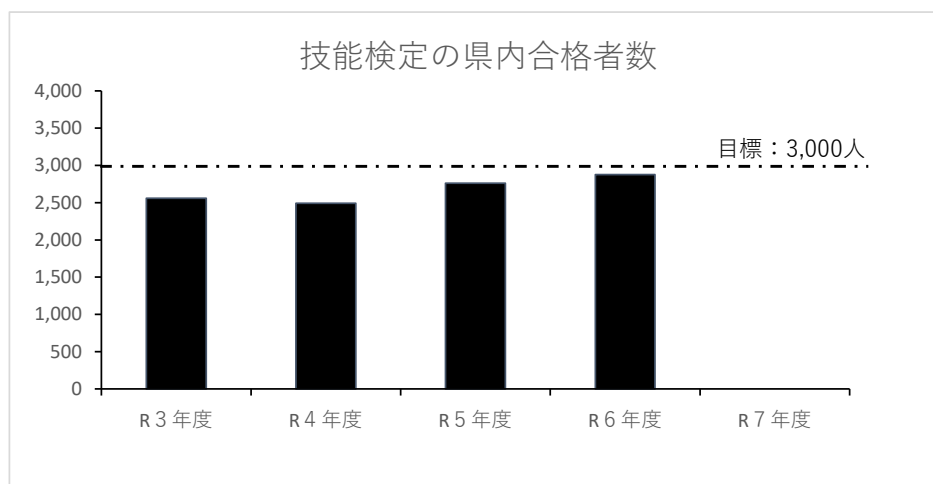
(令和7年9月末現在)

区 分	目 標 【R7年度】	現 状 値					
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	5年平均
実 績	3,000人	2,558人	2,493人	2,759人	2,878人	-	2,672人
達成率		85.3%	83.1%	92.0%	95.9%		89.1%
判定区分		未達成	未達成	概ね達成	概ね達成	-	未達成

## 実施状況のデータ

(令和7年9月末現在)

年 度		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	5年平均
受検者数 (人)	日本人	3,383	3,098	2,978	2,907	-	3,091.5
	外国人	1,433	1,365	1,673	1,881	-	1,588.0
	合計	4,816	4,463	4,651	4,788	-	4,679.5
合格者数 (人)		2,558	2,493	2,759	2,878	-	2,672.0
合格率		53.1%	55.9%	59.3%	60.1%	-	57.1%



## 【評価の概要・課題】

- ・達成率は5年間の平均が89.1%だったが、新型コロナウイルス感染症が5類に移行した令和5年度以降は増加傾向であることから「一定の成果が見られる」と評価した。
- ・企業の人手不足を背景に、外国人技能実習生が増加しており、それに伴い外国人の受験者が増加している。

## 【取組の方向性】

- ・今後も、技能実習生（令和9年度からは育成就労）は増加が見込まれており、技能検定を実施している新潟県職業能力開発協会（以下「協会」という。）と連携を図り技能検定の実施体制の強化に努める。
- ・加えて、新規に技能実習生等を受け入れる企業の増加が想定されることから、企業内で実施される随時技能検定を円滑に実施し、技能実習生等の合格率向上が図れるよう、協会と連携して企業を支援する。
- ・また、技能五輪参加の支援や功労賞の表彰等を通じて、技能を尊重する機運の醸成に努め、日本人の技能検定受検者数の増加を図る。